

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800039
事業所名	グループホーム向陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、回覧版は入居者がお隣へ届けている。施設の秋祭りには雨にも拘らず、30人程の参加者があった。母体病院の全面的支援で模擬店も出し、子供たちに大好評であった。地域の『ハロウィンパーティー』には、仮装した子供達か「トリックオアトリート」とホームを訪れ、入居者が菓子を渡した。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	母体病院の医師・入居者・家族・民生委員・市職員・地域包括職員・出入り業者・職員が参加し、法定数の開催が確認された。月曜開催にもかかわらず、多いときには9人程の家族が参加している。職員は入れ替わりで数名が出席し人前での報告・説明能力を鍛えている。毎回『ヒヤリハット・事故報告』がされ、その原因及び対策が報告されている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市役所へは管理者が出向き、報告情報収集をしている。市では『地域ケア会議』が市主催で催され、介護事業所・病院関係者・社会福祉協議会・民生委員等が、多いときは毎月一堂に会し、会議・研修を行っている。ホームには「認知症サポーターが居ます」との幟が掲げられていた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	運営推進会議で、「来るたびに『お腹がすいた』と言われる」の声に管理者は「食事をしたことを忘れてしまうこともあります。小さいおにぎりをいつも用意して、お出ししています」と報告されていた。「入居時歩けなかったが今は歩けるようになった」と家族の喜びの声も寄せられている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	×	○	×	○	○	○	○	○		